

林治氏文書概要

1: 文書群番号	085004
2: 文書群名	林治氏文書
3: 出所	林治家
4: 家業・役職等	戸長・東新田村惣代・大庄村村会議員
5: 地名	摂津国武庫郡東新田／兵庫県武庫郡東新田／武庫郡大庄村東新田／尼崎市東・尼崎市琴浦町ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7: 歴史	<p>東新田村は、市城南西部に位置しており、集落の南に中国街道が接していた。もとは西新田と一体で、中世後期頃に東大島・浜田の南に開発されたものと考えられる。浜田とともに浜田荘の荘域であった。東新田の史料上の初見は慶長10年(1605)。</p> <p>近世初期には幕府領、元和3年(1617)尼崎藩領となり、明治に至った。村高は慶長10年に285石余、天保5年(1834)に474石余とあり、天保期の石高には寛永14年(1637)に高入れされた新田が含まれている。また、天和・貞享年間(1681～1688)には家数33軒、人数195人、天明8年(1788)には42軒、182人とある(いずれも新田分含む)。水利は大島井組に属した。氏神は琴浦神社(近世には琴浦明神社)。</p> <p>昭和27年(1952)には西新田にかけての大庄湿地帯が開発されて尼崎競走場(競艇場)が建設され、昭和38年には阪神電鉄の尼崎センタープール前駅が常設駅となった。</p>
8: 伝来	昭和60年、史料館が林治氏より借用。整理・目録作成が完了したのち、昭和62年に寄贈を受けた。平成23年10月再整理を完了した。
9: 史料入手先	林治氏(大庄農業協同組合理事)
10: 点数	179点(目録件数50件)
11: 年代	享保18年(1733)～昭和14年(1939)
12: 構造と内容	<p>本文書群は、享保18年刊の謄本を除けば、すべて近代文書である。①地租改正、②東新田村・大庄村の村政、③借用証など金融、④林家の史料からなり、③と④が大半を占める。</p> <p>①は字限図、地券など、②は東新田村の戸長・副戸長の任命書や村会議員当選証書、大庄村歳入出決算書及び事務報告書、米騒動期の米廉売収支決算書などがある。③は地所書入、不動産売買のほかは借入金証書が大半を占める。</p> <p>④は大庄尋常高等小学校・尼崎女子技芸学校・大庄裁縫学校の学年修業証書・卒業証書・皆勤賞の賞状など、学校関係の史料のほか、日清戦争への献金・水害罹災者への救恤に対する感謝状などがある。</p>
13: 関連史料	-
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	城戸八千代